

沖建協宮古支部

宮古総実高の生徒に教材贈呈 2級土木施工管理技士受験を支援



教材を贈呈した平良支部長（左端）と前泊君（同2人目）、日建学院の松山支店長（同3人目）、宮古総実高の富木先生（右端）

（一社）沖縄県建設業協会宮古支部（平良正樹支部長）は4月23日、宮古総合実業高校（大山正吾校長）の生徒に対して2級土木施工管理技士受験対策教材を贈呈した。資格取得支援による建設業の人材育成などを目的に実施しているもの。テ

キスト贈呈と合わせて日建学院沖縄支店（松山大輔支店長）による資格取得のガイダンスも開かれ、同校食と環境科環境クリエイトコースの1〜3年生が受講した。

教材の贈呈式で平良支部長は「これを機会に建設業界に興味を持ち、資格取得のために頑張ってもらいたい」と生徒らに呼びかけ、「資格を取得することは、職種や進路が違ってても将来につながる」と激励。教材を受け取った3年生の前泊君は「テキスト贈呈やガイダンスなどを通して色々な方々に支え

られていることを実感した。サポートに成果で応えられるよう、これから対策を頑張っていきたい」などと述べ、対応に感謝した。引き続き行われたガイダンスでは、日建学院の松山支店長らが2級土木施工管理検定試験の概要、試験出題内容などを解説。生徒らは試験問題の演習にも取り組み、同校出身の先輩によるメッセージなども紹介された。

2級土木施工管理検定は、1次検定の前期試験が6月6日、後期試験が10月24日に予定されており、前期は7月上旬、後期は来年1月14日に合格発表予定。2次検定は10月24日の試験、来年1月中旬の合格発表予定となっている。

新入社員研修を実施

建設業など62人参加

日建学院沖縄

日建学院沖縄校（松山大輔支店長）は4月22日と23日の2日間、那覇市の同校で建設・設計・不動産関連企業の新入社員を対象とした研修会を開き、62人

が参加した。

松山支店長は「入社して月日が経つとおりや不満が出てくることもあるが、感謝の気持ちを持ち続けることが大切だ」と指摘。「将来のビジョンを持って、資格取得にも励んでほしい」とエールを送った。

研修では、ビジネスマナーや建設現場の工程、鉄筋工事の手順などについて講義が行われた。研修を受講した嶺山中組の玉城拓郎氏は「ビジネスマナーや建設業の基礎知識を細かく学ぶことができて良かった」と感想を述べ、「建築施工管理技術検定2級に挑戦したい」と目標を話した。



研修に参加した皆さん